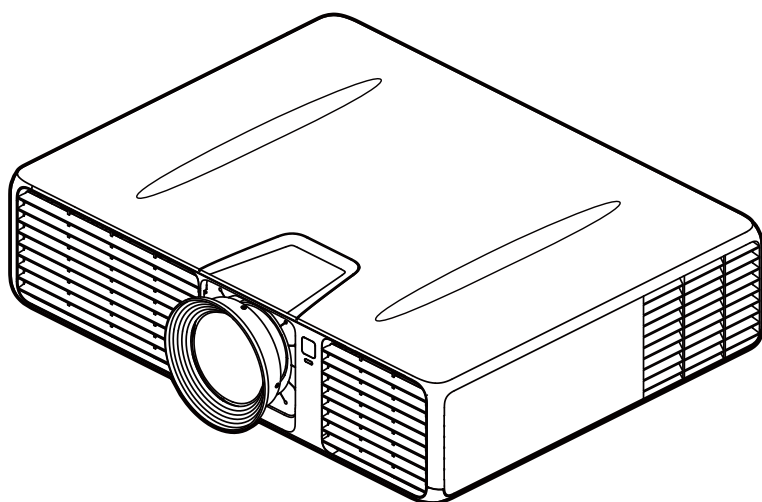


取扱説明書(WEB)

プロジェクター

型番:IP-GU500B[室内用]



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「[安全上の注意 P8](#)」を必ずお読みください。
- WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルについて P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。

- ・Microsoft Edge ブラウザ(最新版)
- ・Google Chrome ブラウザ(最新版)

—WEB マニュアルについて

■スマートフォン



■パソコン



① メニュー一覧/検索 切替ボタン(スマートフォンのみ)

☰ をタップするとメニュー一覧/検索画面が表示されます。

✕ を押すと元の画面に戻ります。

② 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

③ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

④ 関連ページリンク

選択すると、WEB サイトや WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

⑤ メニュー

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

⑥ メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

⑦ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

一 検索について

■スマートフォン



■パソコン



⑧ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑨ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。
- ・ Microsoft Edge は Microsoft Corporation の商標です。
- ・ Google Chrome は Google LLC の商標です。

もくじ

ご使用の前に.....	8
安全上の注意.....	8
使用上の注意.....	14
外形寸法.....	15
レーザーに関する注意.....	16
付属品を確認する.....	17
各部の名称.....	18
本体.....	18
接続パネル.....	19
操作パネル.....	21
リモコン.....	22
設置する.....	24
設置方法.....	24
テーブル・床(置き設置).....	26
天井(つり下げ設置).....	27
接続する.....	28
プロジェクターと機器を接続する.....	28
リモコンを準備する.....	32
電源コードを接続する.....	34
使いかた.....	35

電源オンオフ.....	35
電源ランプ点灯について.....	38
入力を切り替える.....	39
基本的な使いかた.....	40
投写画像の調節.....	41
投写位置を調節したい.....	42
画面のゆがみを補正したい.....	43
OSD メニュー.....	44
OSD メニューの使いかた.....	44
ディスプレイ.....	45
映像.....	48
サウンド.....	50
設定.....	51
アドバンス.....	54
情報.....	56
お手入れ.....	57
お手入れについて.....	57
本体ケース.....	58
レンズ.....	58
吸気口・排気口.....	58
保管について.....	58
故障かな？と思ったら.....	60

電源について.....	60
操作について.....	61
映像について.....	62
音声について.....	65

その他の情報..... 66

投写距離表.....	66
仕様.....	68
商標.....	69
保証とアフターサービス.....	70
保証規定.....	71
お問い合わせ先.....	72

ご使用の前に

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。

人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P8](#)

→ [注意 P12](#)

図記号の意味

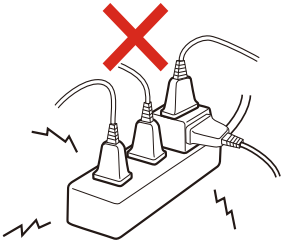
		
注意を促す記号です。	禁止を示す記号です。	必ず行うことを示す記号です。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

— 電源プラグ・電源コードは正しく使う

	・ 電源プラグのほこりは定期的に取り ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。 ・ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。 ・ 電源プラグはすぐに抜くことができるように設置する
	・ お手入れや移動のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く 感電やけがの原因になります。
	・ ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない 感電・やけど・けがの原因になります。
	・ 雷が鳴りだしたら電源プラグに触れない 感電の原因になります。
	・ 乳幼児に電源プラグに触れさせない けがや感電の原因になります。

	・ 交流 100V 以外では使用しない ・ 付属している電源コード以外は使用しない 本製品に付属の電源コードは本製品の専用品です。他の機器には使用できません。 ・ 海外で使用しない 火災・感電の原因になります。 本製品は日本国内専用です。船舶の電源や発電機、電圧の異なる海外の電源では使用しないでください。
	・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く 発煙・火災・感電のおそれがあります。 [異常の例] ・ 異常な音やにおいがする、煙が出ている ・ 内部に水や異物が入った ・ 本製品を落としたり、本製品の一部を破損した ・ 正常に動作しない(画面が映らない、音が出ない) ・ 電源コードやプラグに傷がある ➡ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコール P72(☎電話をかける)へお問い合わせください。
	・ 電源プラグはアース線を接続してからコンセントに差し込む アース線を接続しないと、漏電したときに感電の原因になります。 アース線を接続できないコンセントの場合は販売店または電気店にご相談ください。 電源コードを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。
	・ 電源コードを束ねて通電しない 過熱してやけど・火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。 ・ 電源コードを傷付けない ・ 電源コードを引っ張らない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 ・ 電熱器の近くで配線しない 火災・感電・けがの原因になります。 ・ コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない 火災・感電の原因になります。 

	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときはコンセントから電源プラグを抜く ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、アイリスコール P72(☎電話をかける)へお問い合わせください。
---	--

— 取り扱いについて

	- 吸気口や排気口をふさがない 布をかけたり、壁などに密接して、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因になります。 次のような場所に置いたり設置したりしないでください。 - 押し入れや密閉したラックの中などの風通しが悪く換気の悪い場所 - じゅうたんや布団のような柔らかいものの上 本製品の上に毛布・カーテン・テーブルクロスなどの布をかけないでください。 本製品の設置は「テーブル・床(置き設置) P26」「天井(つり下げ設置) P27」に必要な寸法を確保してください。
 分解禁止	- 分解・修理・改造をしない - 本体ケースを開けない 内部には電圧の高い部品があり、火災・感電・けがの原因になります。 修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店またはアイリスコール P72(☎電話をかける)にご相談ください。
 水ぬれ禁止	上に水を入れた容器や薬品を置かない 火災・感電の原因になります。
	空気中に引火性ガスがある近くでは絶対に使用しない 引火による火災・けがの原因になります。 殺虫剤・消臭剤・エアダスターなど可燃性や爆発性のあるガスを使用した場合、十分に換気してから本製品をご使用ください。
	- 内部に異物や水分を入れない 水や異物が入ると火災や感電の原因になります。特にお子様のいるご家庭では注意してください。 - 吸気口や排気口から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。 - 本製品の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類(安全ピンやヘアピンなど)を置かないでください。 - 水がかかるような場所では使用しないでください。
	乾電池の液がもれたときは素手で液に触れない 液が付いた手で目を触ると失明の原因になります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水

道水などのきれいな水で十分洗い、直ちに医師の治療を受けてください。液が身体や衣服に付いたときも、やけどやけがの原因になります。すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

— レンズについて



- **使用中はレンズをのぞかない**
視覚障害などの原因になります。
使用中は、レンズから強い光が出るため、絶対にレンズをのぞかないでください。
使用中に本製品の正面に出る場合は、直接目に光が入らないようにしてください。
- **レンズの前にものを置いたり、レンズに紙や布を貼らない**
高温による発煙・火災・レンズ損傷の原因になります。
本製品の使用中に投写している映像を消したい場合は、リモコンのブランクボタンでブランク画面にするか、本製品の電源を切ってください。
- **レンズやフィルターなどを可燃性ガスのスプレーでお手入れしない**
引火による火災・けがの原因になります。
レンズやフィルターのお手入れは掃除機や手動のエアブローワーをお使いください。

— 設置について



- **不安定な場所に設置しない**
落下によるけがや破損の原因になります。
特に子どもに対する傷害は、多くの場合、以下の予防処置をすることで回避できます。本製品を新規設置する場合、また使用中の本製品を移動する場合も、同様に以下の注意を払ってください。
 - スタンドやテーブルは水平で頑丈なものを使用してください。
 - スクリーンに対して垂直になるように設置してください。
 - ケーブル類は足に引っかからないように安全な場所にあるか確認してください。
 - プロジェクターを2台重ねないでください。



水ぬれ禁止

- **屋外・水まわり・ふろ場など、ぬれるおそれのある場所や湿気の多い場所に絶対に設置しない**
火災・感電の原因になります。



- **ねじゆるみ止め接着剤・潤滑剤・油などを使用して設置金具を調整しない**
付着による本体ケースの破損・落下によるけがの原因になります。
天井や壁への設置には特別な技術が必要になります。お買い上げの販売店または[アイリスコール P72](#)(☎電話をかける)へご相談ください。



誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生するおそれがある内容を示しています。

－ リモコンについて

	・ 加熱・分解しない ・ 火の中に入れない ・ 直射日光に当たる場所や閉め切った自動車の中、ヒーターなどの温風吹き出し口の近くに置かない 高温によるショート・火災・破損の原因になります。
--	---

－ リモコンの電池について

	・ 金属製の小物類と一緒に携帯・保管しない ショートして液もれや破裂の原因になることがあります。 ・ 指定以外の電池を使用しない ・ 種類の違う電池、新しい電池と古い電池を混ぜて使わない 過熱・破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になることがあります。 ・ 乾電池を絶対に充電しない 破裂・液もれにより、火災・けが・やけどの原因になります。 ※充電式電池を除く。 ・ 乾電池は子どもや乳幼児の手の届くところに置かない 遊んで飲み込むことによりけがの原因になります。万が一、飲み込んだ場合は直ちに医師の診察を受けてください。
	・ 電池を入れるときは、極性表示($\oplus$ と $\ominus$ の向き)に注意し、「電池の入れかた P32」を参照して正しく入れる 間違えると、破裂・液もれにより、火災やけが、周囲を汚損する原因になります。 ・ 長期間使用しないときは電池を取り出しておく 液がもれて、火災やけが、周囲の汚損の原因になります。 液がもれた場合は、電池ケースに付いた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。 万一、もれた液が身体に付いたときは、水でよく洗い流してください。
	・ 分解しない 皮膚や衣服を損傷することがあります。

ー 取り扱いについて

 プラグを抜く	・ 長期間使わないときは、電源プラグを抜く 絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。
	・ 湿気・ほこり・油煙・湯気の多い場所、直射日光の当たる場所では使用しない 火災・感電・けがの原因になります。
	・ 上に乗ったり、重いものを載せたりしない 転倒してけがや破損の原因になります。
	・ 使用中は排気口に手・顔・熱に弱いものを近づけない 高温によるやけど・けが・破損の原因になります。
	・ 使用中はレンズやフィルターに触れない やけど・けがの原因になります。
	・ お手入れのときぬれた布・アルコール・ベンジン・シンナーなどの溶剤を使用しない 内部に水が入ったり、本体破損による感電の原因になります。
	・ 硫黄ガスや腐食性ガスなどが発生する場所で使用しない 故障の原因になります。
	・ 年に 1 回程度、内部のお手入れを依頼する 内部にほこりがたまると、火災・感電・故障の原因になります。 年に 1 回は販売店またはアイリスコール P72(☎電話をかける)に内部の点検や清掃をご相談 ください。お客様自身による内部のお手入れは危険ですので絶対にしないでください。

使用上の注意

— 取り扱いについて

- ・ 異常発生時は、直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または[アイリスコール P72](#) ( [電話をかける](#)) へお問い合わせください。使用を続けると、感電・火災・視力障害の原因になります。
- ・ 本製品は分解しないでください。

— レンズについて

- ・ 本体やレンズには精密部品が使われているため、振ったり無理な力を加えたりしないでください。

— 本書の表記と内容について

- ・ 本製品の仕様および機能などは、ファームウェアの更新などにより予告なく変更されることがあります。
- ・ 本書に記載されている本体や画面などのイラストは、実際とは異なる場合があります。実際に表示される画面で確認してください。

— 本製品の特性について

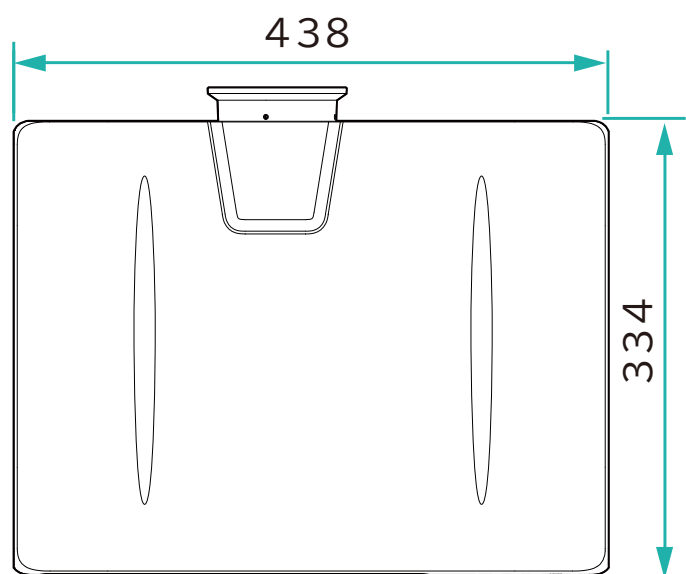
- ・ 本製品は周囲温度の影響で投写位置がずれたり、画面がゆがんだり、フォーカスの変動することがあります。本製品が点灯してから性能が安定するまでの約 30 分程度は、特に変化が生じやすくなりますので、必要に応じて確認と再調節を行ってください。

廃棄するときは

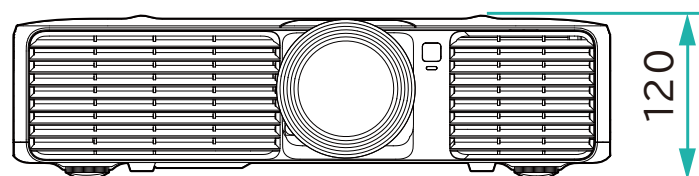
- ・ 本製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

外形寸法

単位:mm



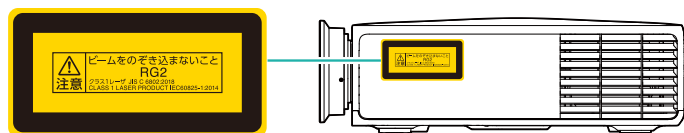
(レンズを除く)



(調節脚が最小かつ上部突起部を含む)

レーザーに関する注意

警告ラベル貼付位置

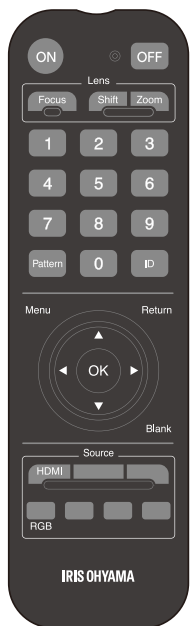


- ・ 本製品は、JIS C 6802:2014 (IEC 60825-1:2014)に適合したクラス 1 のレーザー製品です。取り扱いかたを誤ると重大な障害の原因となるため、注意事項をよく読んで取り扱ってください。
- ・ プロジェクター内部には高出力レーザー製品が組み込まれているため、分解や改造は絶対にしないでください。重大なけがの原因となります。
- ・ 投写中にビームをのぞき込んだり、光学機器（ルーペや望遠鏡など）を使用してレンズをのぞいたりしないでください。視力障害の原因となります。離れた場所からリモコンで本製品の電源を入れるときは、レンズをのぞいている人がいないことを確認してください。
- ・ 小さなお子様には触れさせないでください。操作する必要があるときは、必ず保護者が同伴してください。
- ・ 投写映像にルーペや反射鏡などの光学機器を当てないでください。人体に悪影響を与えたり、火災・事故の原因となることがあります。

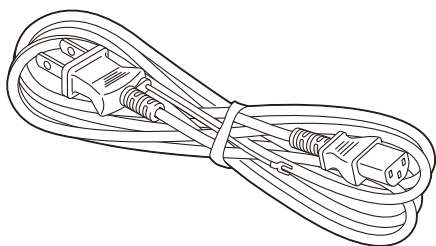
内部レーザーの仕様

平均出力	141W
平均明るさ	12300lm
光効率	89lm/W

付属品を確認する



リモコン×1



電源コード×1



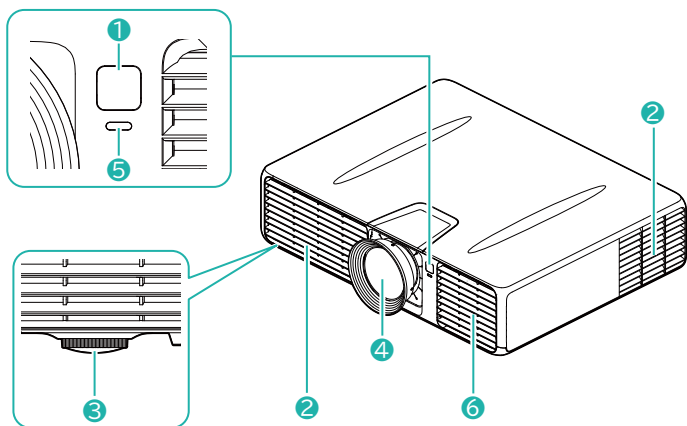
「取扱説明書(準備編)」

保証書付き

各部の名称

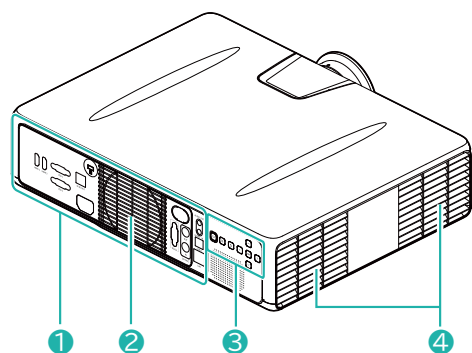
本体

— 正面



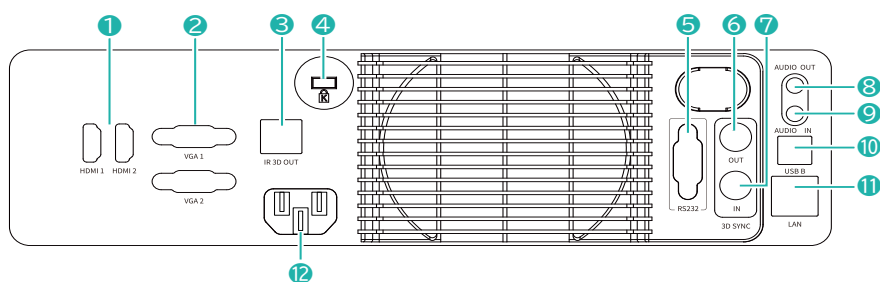
- ① リモコン受光部
- ② 吸気口
- ③ 調節脚
- ④ レンズ
- ⑤ 電源ランプ
- ⑥ 排気口

— 背面



- ① [接続パネル P19](#)
- ② 吸気口
- ③ [操作パネル P21](#)
- ④ 排気口

接続パネル



① HDMI1、HDMI2 端子(HDMI 端子×2)

HDMI ケーブルを使用するブルーレイプレーヤー、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

② VGA1、VGA2 端子(VGA 端子×2)

パソコンのディスプレイ出力端子と接続します。

③ IR 3D OUT 端子×1

④ ケンジントンロック

プロジェクターの盗難をふせぐための鍵とワイヤーがセットになったものを固定するようにこの孔を使用します。

⑤ RS232 端子×1

パソコンで本機を操作する際に使用します。

⑥ SYNC OUT ×1

3D 同期信号が必要な映像システムに使用します。

⑦ SYNC IN ×1

3D 同期信号が必要な映像システムに使用します。

⑧ AUDIO OUT 端子×1

本機から投写されている映像の音声入力端子の音声を出力します。

⑨ AUDIO IN 端子×1

DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続します。

⑩ USB Type-b×1

使用することはできません。

⑪ LAN×1

イーサネットからの LAN ケーブルを接続します。

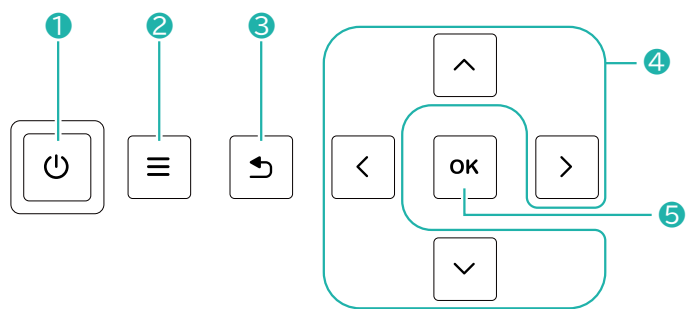
⑫ 電源プラグ差し込み口

※ ⑧⑨のステレオミニプラグは 4 極端子には対応していません。

関連ページ

- ・ [プロジェクターと機器を接続する P28](#)

操作パネル



① 電源ボタン

電源をオンにします。

② メニューボタン

機器設定のメニューを表示します。

③ 戻るボタン

操作画面や機器設定などで、一つ前の画面に戻ります。

④ </^/>/v ボタン

操作画面や機器設定などで、項目を移動します。

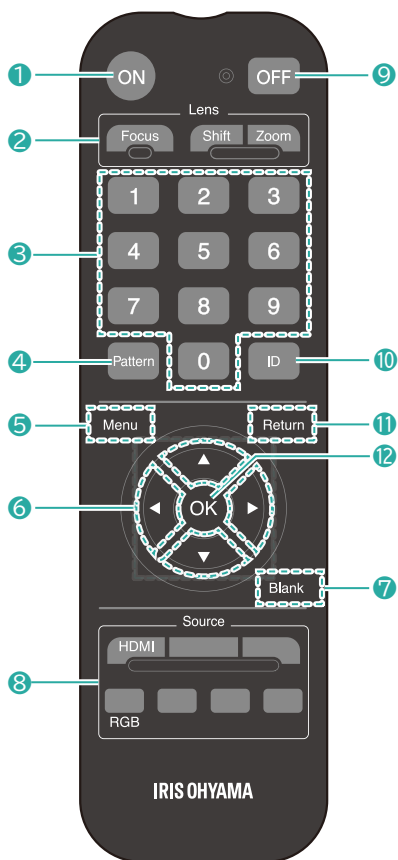
⑤ 決定ボタン

</^/>/v ボタンで選択した項目を決定します。

関連ページ

- ・ [電源ランプ点灯について P38](#)

リモコン



① ON ボタン

電源をオンにします。

② レンズボタン

Focus、Shift、Zoom の調節を行います。

③ 数字ボタン

- ・ ID ボタンを使用する際に使用します。
- ・ 設定メニューでネットワーク設定の際に数字を入力するために使用します。

④ Pattern ボタン

テストパターンを表示します。

⑤ メニューボタン

機器設定のメニューを表示します。

⑥ 方向ボタン

設定メニューが表示されているときに、メニュー項目や設定を選択するために使用します。

⑦ ブランクボタン

画面を黒画面にする際に使用します。

⑧ 入力切換ボタン

各入力ポートの信号映像に切り替えます。

⑨ OFF ボタン

電源をオフにします。(スタンバイモード)

⑩ ID ボタン

数字ボタンと同時に押下することでプロジェクター ID が生成されます。

⑪ 戻るボタン

操作画面や機器設定などで、一つ前の画面に戻ります。

⑫ 決定ボタン

設定メニューが表示されているときに押すと、現在の選択を確定します。

関連ページ

- ・ [リモコンを準備する P32](#)

設置する

設置方法

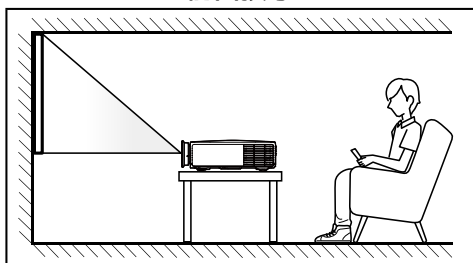
設置する前に「[安全上の注意 P8](#)」を確認してください。

このプロジェクターは 4 つの方法で設置できます。

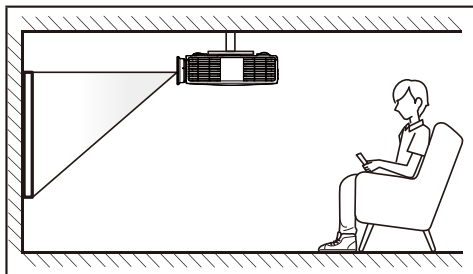
部屋の大きさ・スクリーンの大きさ・設置場所・コンセントの場所・プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を確認して設置方法を決めてください。

リモコンの  または本体の  >[設定]>[設置方向]

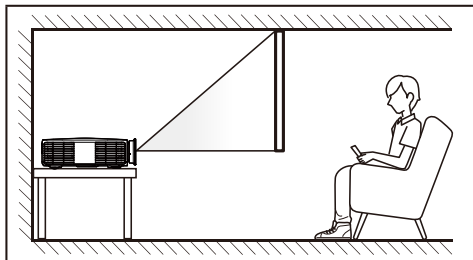
前面投写



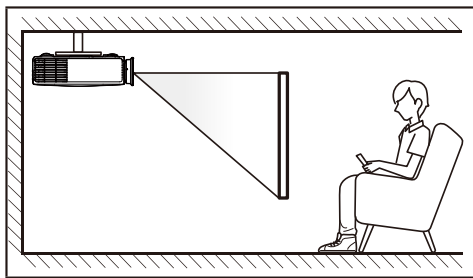
天井前面投写



リア投写



リア前面投写



！お願い

- ・ 次のような場所に設置してください。
 - － 水平で丈夫なテーブルの上
 - － 吸気口や排気口をふさがない風通しの良いところ
 - － 直射日光や暖房機器の熱が当たらないところ
 - － 振動や衝撃が伝わらないところ
 - － 周囲に磁気が発生するものがないところ
- ・ プロジェクターを積み重ねて設置しないでください。

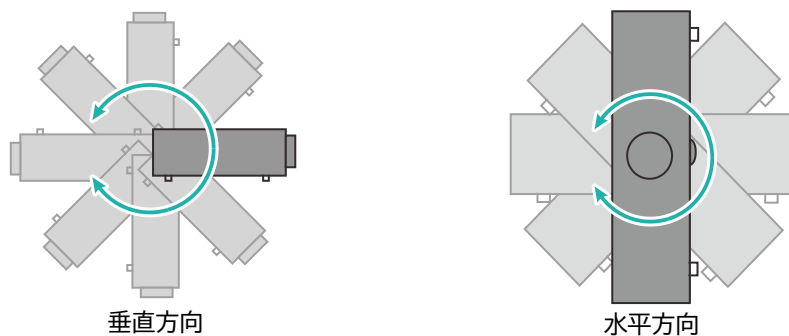
関連ページ

- ・ [天井\(つり下げ設置\) P27](#)

テーブル・床(置き設置)

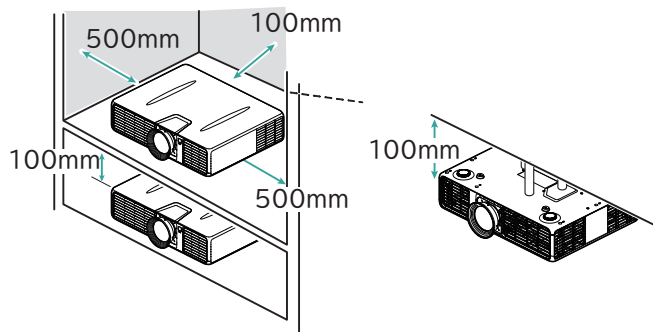
プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して 90 度/垂直にします。

本製品は設置角度に制限がないため、どのような方向にも投写できます。



— 設置に必要な寸法

設置する場合は、吸気口と排気口をふさがないように、本製品を周囲の壁などから下図のスペースを確保してください。



❗ お願い

- ・ プロジェクターを積み重ねて設置しないでください。
- ・ 特定のスクリーンサイズになるようにプロジェクターの位置を決定する方法については、[投写距離表 P66](#) を参照してください。
- ・ 特定の投写距離になるようにスクリーンサイズを決定する方法については、[投写距離表 P66](#) を参照してください。

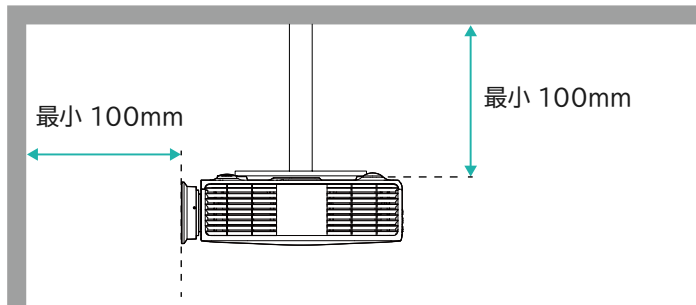
関連ページ

- ・ [設置方法 P24](#)

天井(つり下げ設置)

プロジェクターのつり下げ設置は、お買い上げの販売店に依頼してください。

— 設置に必要な寸法



！ お願い

- ・ 排気口からの熱風を吸気口から吸気しないように注意してください。
- ・ 本製品を閉鎖された空間で操作するときは、プロジェクターの稼働中に周囲空気温度が動作温度を超えないようにしてください。
- ・ 吸気口と排気口を遮らないようにしてください。
- ・ 排気口からの熱風を吸気してしまうと、動作温度内であってもシャットダウンしてしまうことがあります。
- ・ 特定のスクリーンサイズになるようにプロジェクターの位置を決める際には、[投写距離表 P66](#) を参照してください。
- ・ 特定の投写距離になるようにスクリーンサイズを決める際には、[投写距離表 P66](#) を参照してください。

ポイント

プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投写される画像と比例して垂直オフセットも大きくなります。

関連ページ

- ・ [設置方法 P24](#)

接続する

プロジェクターと機器を接続する



接続を行う前にプロジェクターと接続機器の電源をすべて切ってください。

機器に合わせて接続を行ってください。

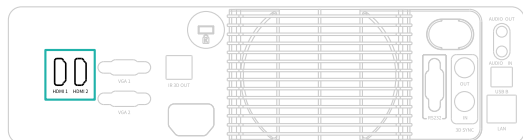
各機器の説明は、下記のリンクをクリックしてください。

- [パソコンと接続する場合 P29](#)
- [ゲーム機/ブルーレイ・DVDレコーダーと接続する場合 P29](#)
- [USB Type-b 端子を接続する場合 P30](#)
- [インターネットに接続する場合 P30](#)
- [IR 3D 対応の機器に接続する場合 P30](#)
- [3D シンクロトランスミッターなどに接続する場合 P30](#)
- [DVD プレーヤーなど音声入力する場合 P31](#)
- [スピーカー/イヤホンなどに接続する場合 P31](#)

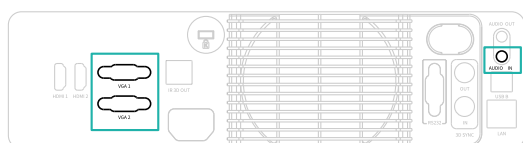
— パソコンと接続する場合



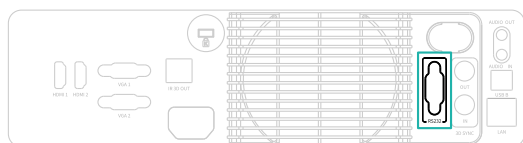
・ HDMI ケーブル



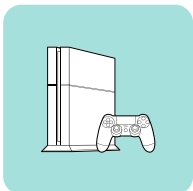
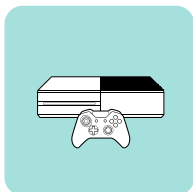
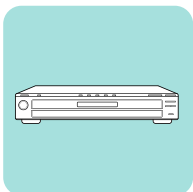
・ VGA 入力ケーブル



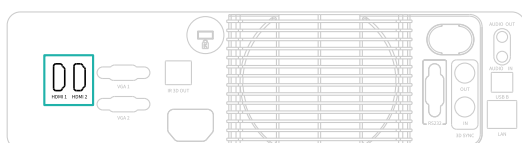
・ RS232 ケーブル



— ゲーム機/ブルーレイ・DVD レコーダーと接続する場合



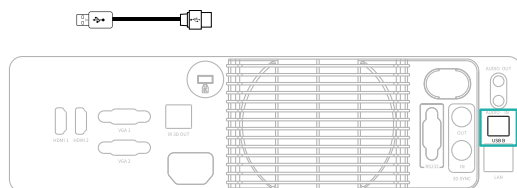
・ HDMI ケーブル



※HDMI1/HDMI2:4K30Hz まで対応しています。

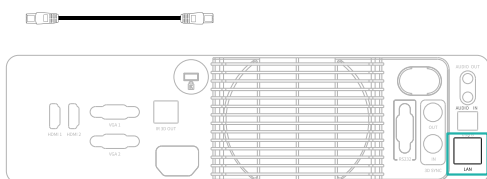
—USB Type-b 端子を接続する場合

- ・ USB Type-bケーブル



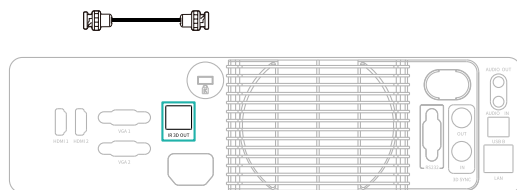
—インターネットに接続する場合

- ・ LAN(RJ-45)ケーブル



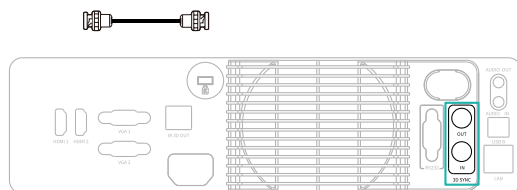
—IR 3D 対応の機器に接続する場合

- ・ IR 延長ケーブル

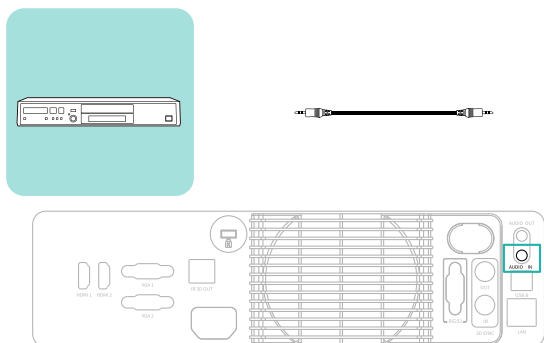


—3D シンクロトランスミッターなどに接続する場合

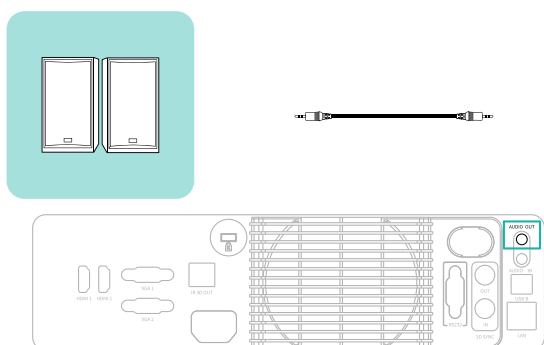
- ・ SYNCケーブル



—DVD プレーヤーなど音声入力する場合



—スピーカー/イヤホンなどに接続する場合



関連ページ

- [接続パネル P19](#)

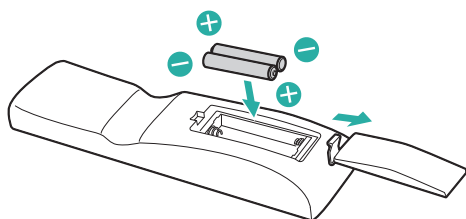
リモコンを準備する

—電池の入れかた

1 背面カバーを開ける

単四形乾電池を指定の向きに入れる(2 個)

2



3 背面カバーを閉じる

！お願い

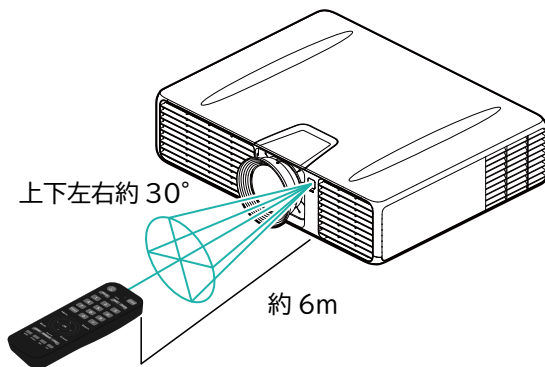
乾電池の廃棄は、自治体の条例または規則にしたがってください。



- ・ 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を取り外してください。

—リモコンで操作できる範囲

リモコンの赤外線発光部を本体のリモコン受光部に向けて、直線：約 6m 以内、上下左右約 30°の範囲で操作できます。



ポイント

- ・ リモコン受光部の正面から操作する。
- ・ リモコンと本体のリモコン受光部の間にものを置かない。

電源コードを接続する



- ・必ずアース線をつないでから、電源プラグをコンセントに差し込む
- ・電源プラグを抜いてから、アース線を外す
発火・感電の原因になります。

ーアース線と電源コードの接続

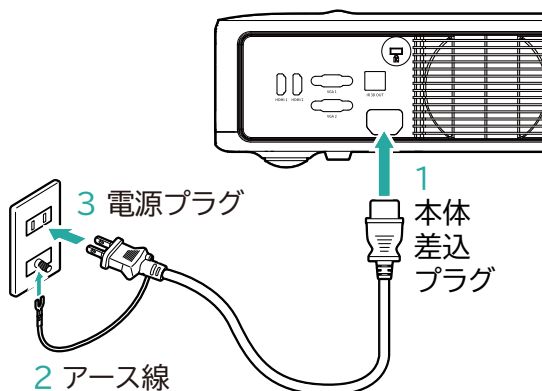
1 本体差込プラグを電源プラグ差込口に差し込む

2 アース線をつなぐ

電源プラグをコンセントに差し込む

3 電源ランプが赤く点灯します。

※ 設定によっては、電源コード接続時に電源が入ります。



- ・電源コードは、電源ランプが赤く点灯している「スタンバイモード」になってから抜いてください。
故障の原因になります。

使いかた

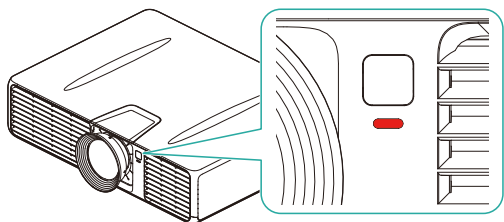
電源オンオフ

—電源オン

電源コードと入力端子を接続する

- ・ 電源コードと入力端子を奥までしっかり接続してください。
- ・ 電源コードを接続すると、電源ランプが赤く点灯します。

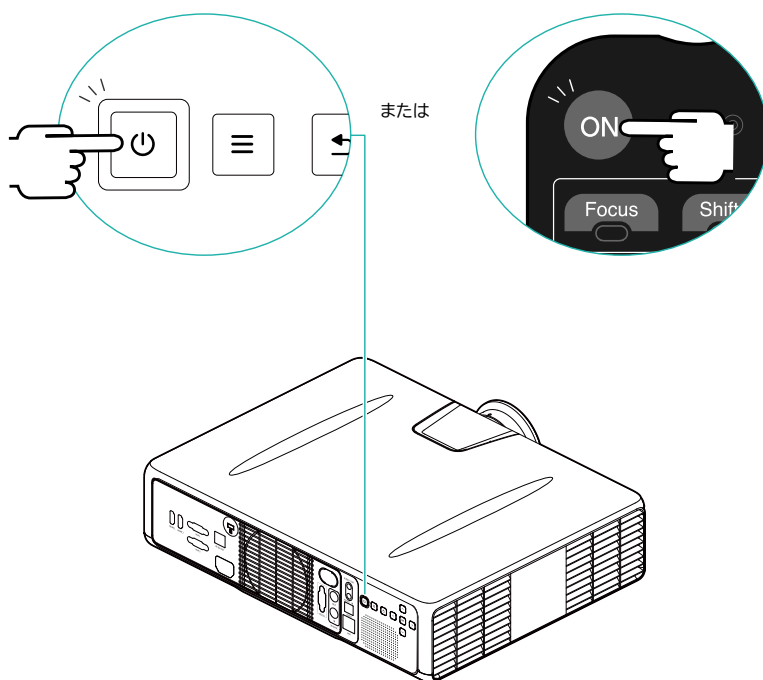
1



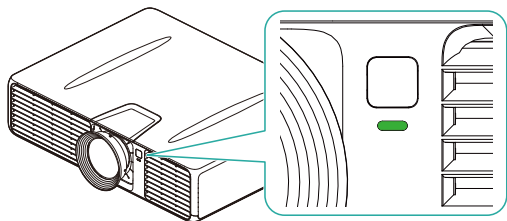
起動する

本体の  またはリモコンの  ボタンを押してください。

2



- 電源ランプが緑色に点灯し、起動画面が約 20 秒後に表示されます。



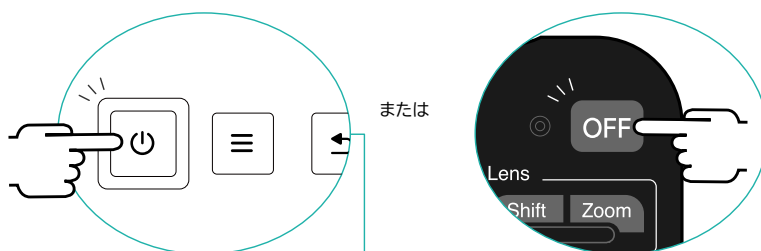
ポイント

初めて電源を入れると、使用言語、投写方向、その他の設定の選択画面が表示されます。

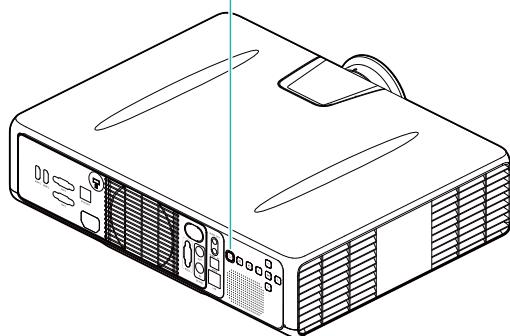
電源オフ

確認画面を表示する

本体の  ボタン、またはリモコンの  ボタンを押してください。

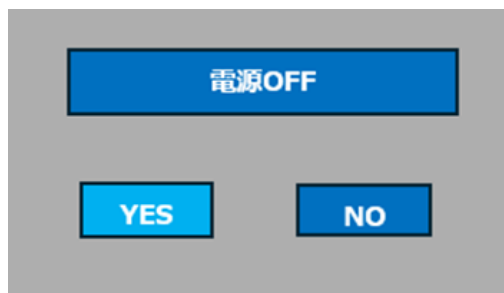


または



- 以下の画面が表示されます。

- メッセージを消すときは、 ボタンを押してください。



電源をオフにする

- 2
- 本体の  ボタンをもう一度押す、またはリモコンの  ボタンを押すと電源がオフになります。
 - 確定しなかった場合、メッセージは30秒後に消えます。もう一度  または  ボタンを押すと、プロジェクターの電源がオフになります。
 - 冷却が終わり、プロジェクターがスタンバイモードに入ると電源ランプが赤く点灯します。
 - プロジェクターの電源を再び入れる場合は、クールダウンを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードになった後に、 または  ボタンを押してください。



- 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れないでください。
- 電源コードは、電源ランプが赤く点灯している「スタンバイモード」になってから抜いてください。故障の原因になります。

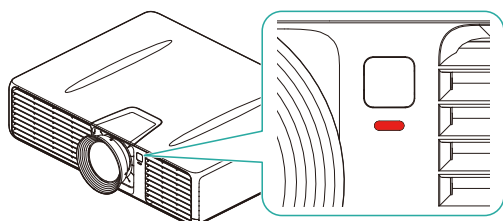
関連ページ

- [操作パネル P21](#)

電源ランプ点灯について

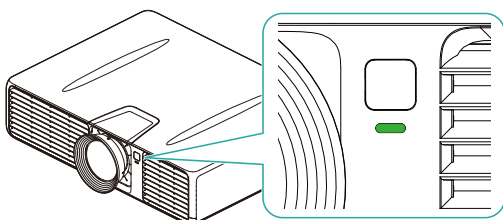
製品の状態は、電源ランプの表示で確認できます。

— ランプ点灯メッセージ



スタンバイ状態

赤色に点灯します。



電源オン(ウォーミング中)

緑色に点灯します。

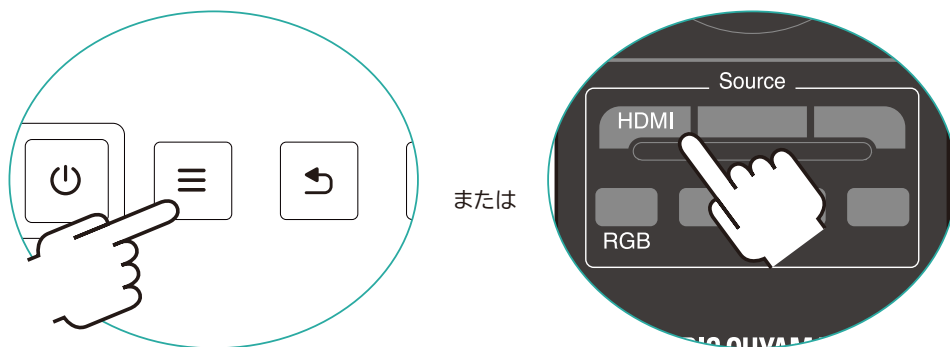
電源オフ(冷却中)

赤色に点灯します。

関連ページ

- [操作パネル P21](#)

入力を切り替える



接続機器の電源を入れる

1

入力端子に接続した機器（コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど）の電源を入れてください。

入力を切り替える

2

本体の  ボタンを押して、メニューからご希望の入力に切り替えるか、リモコンのご希望の入力切換ボタンを押してください。

基本的な使いかた



- ・ 本製品に電源が入っている状態のときはレンズをのぞき込まないでください。

電源を入れる

1

ー 初期設定画面が表示されたら

- ・ 本製品を初めて使用したときは、言語選択画面や投写方向の設定画面が表示されます。表示された画面にしたがって設定してください。

機器を選ぶ

2

- ・ リモコンのご希望の入力切替ボタンを押す、または本体の  を押し、入力ソースを選択します。
- ・ 自動ソースがオンの設定になっている場合は入力ソースの選択画面は表示されません。

画面の映り具合や音量を調節する

3

詳細は [\(投写位置を調節したい P42\)](#) をご覧ください。

4

終了するときは、電源を切る

関連ページ

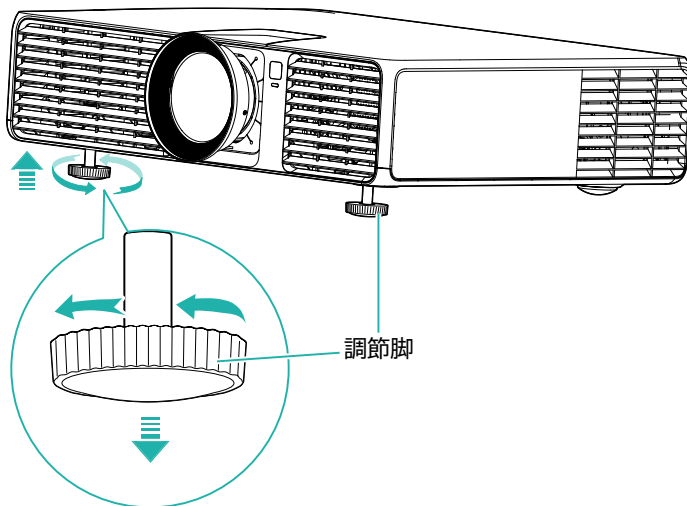
- ・ [電源オンオフ P35](#)
- ・ [投写画像の調節 P41](#)
- ・ [投写位置を調節したい P42](#)
- ・ [画面のゆがみを補正したい P43](#)

投写画像の調節

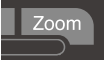
— 画像の高さ

本製品には、投写映像の高さを調節するための調節脚があります。

調節脚を時計方向または反時計方向に回して、プロジェクターの投写映像の高さを調節してください。



— ズーム、レンズシフト、およびフォーカス

- ・ 投写される画像の大きさは、リモコンの  ボタンを押して調節します。
- ・ 画像の位置を調節するには、リモコンの  ボタンを押して調節します。
- ・ フォーカスは、画像や文字が鮮明になるようにリモコンの  ボタンを押して調節します。

関連ページ

- ・ [投写位置を調節したい P42](#)
- ・ [画面のゆがみを補正したい P43](#)
- ・ [投写距離表 P66](#)

投写位置を調節したい

上下位置の調節

調節脚での調節

本体底面前にある2つの調節脚で上下の位置を調節します。

※ 調節脚の伸ばし量は 30mm 以内にしてください。

(→ [画像の高さ P41](#))

リモコンでの調節

-  で上下位置の調節をします。
-  > [ディスプレイ] > [映像移動調整]で上下位置の調節ができます。

左右位置の調節

-  > [ディスプレイ]> [映像移動調整]で左右位置の調節ができます。

関連ページ

- [投写画像の調節 P41](#)
- [画面のゆがみを補正したい P43](#)
- [投写距離表 P66](#)

画面のゆがみを補正したい

リモコンの  または本体の  > [設定]> [キーストン]から調節してください。

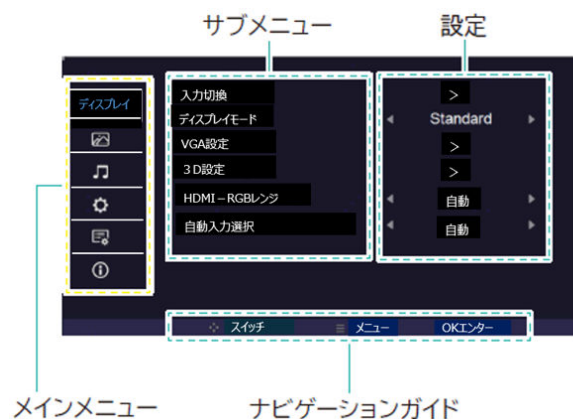
ポイント

水平垂直方向に調節をする場合は、リモコンの  または本体の  > [設定]> [キーストン]> [HV 調整]から調節してください。

OSD メニュー

OSD メニューの使いかた

本製品は、OSD メニューから画像調節などのさまざまな設定の変更を行うことができます。



OSD メニューの設定方法

OSD メニューをひらく

1

プロジェクターの操作パネルにある  ボタン、またはリモコンの  ボタンを押すと、OSD メニューが開きます。

サブメニューを選択する

2

▲▼ボタンを使ってメインメニューの項目を選択します。プロジェクターの操作パネルにある決定ボタン、またはリモコンの決定ボタンを押すとサブメニューに入ります。

設定を変更する

3

◀▶ボタンで設定の変更と調節ができます。

OSD メニューを閉じる

4

設定が完了したら、もう一度メニューボタンを押します。

ディスプレイ

— 入力切替メニュー

入力ソースを VGA 1、VGA 2、HDMI 1、HDMI 2 から選択することができます。

— ディスプレイモードメニュー

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

標準

店頭モード

省エネ

— VGA 設定メニュー

自動調整

水平、垂直、ベース調整で移動した後リセットする際に使用します。

VGA 水平調整

画書の水平位置の調節ができます。

VGA 垂直位置

画書の垂直位置の調節ができます。

VGA ベース調整

画書のサイズ調節ができます。

フェーズ

ノイズを調節し、軽減することができます。

VGA2 設定

入力/出力の切り替えができます。

— 3D 設定メニュー

- ・ 本製品は、DLP-Link 3D ソリューションを備えた 3D 対応プロジェクターです。
- ・ DLP 3D メガネを使用して動画をお楽しみください。
- ・ HDMI1/HDMI2/VGA ポート経由のフレームシーケンシャル(ページフリップ)3D に対応しています。

- ・ 3D モードを有効にするには、入力フレームレートを 60Hz に設定します。それ以外のフレームレートには対応していません。
- ・ 1920x1080 の解像度を推奨しています。3D モードでは、4K 解像度 (3840x2160) の入力信号には対応していません。

3D モード

3D 機能の DLP-Link/オフを選択します。

- ・ **オフ:** 3D モードがオフになります。
- ・ **DLP-Link:** DLP 3D メガネに最適化された設定を使用します。

ポイント

2D ソースと 3D ソースが同時に PJ に入力される場合に、2D ソースにゴースト画像が表示されたときは、3D 機能を手動でオフにしてください。

3D・2D

3D コンテンツの表示方法を指定します。

- ・ **3D:** 3D 信号を表示します。
- ・ **L:** 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- ・ **R:** 3D コンテンツの右フレームを表示します。

3D 映像フォーマット

3D 映像フォーマットを選択します。

- ・ **自動:** 3D 識別信号をもとに、自動的に 3D 映像フォーマットが選択されます。
- ・ **Side By Side:** 3D 信号を「Side By Side」フォーマットで表示します。
- ・ **Top and Bottom:** 3D 信号を「Top and Bottom」フォーマットで表示します。
- ・ **Frame Sequential:** 3D 信号を「Frame Sequential」フォーマットで表示します。

3D 同期反転

3D 同期反転機能の有効/無効を切換できます。

—HDMI-RGB レンジメニュー

自動、0-255、16-235 から選択できます。

— 自動入力選択メニュー

利用可能な入力ソースをプロジェクターが自動検出します。

ON/OFF で切り替えてご使用ください。

関連ページ

- [映像 P48](#)
- [サウンド P50](#)
- [設定 P51](#)
- [アドバンス P54](#)
- [情報 P56](#)

映像

—映像モードメニュー

標準

映画

ユーザー

DICOM

PC モード

—ブライトネスメニュー

映像モードが「ユーザー」のときに、ブライトネスモードの設定を調節します。

—コントラストメニュー

映像モードが「ユーザー」のときに、コントラストは映像の最も明るい部分と最も暗い部分の差の度合いを調節します。

—色あいメニュー

映像モードが「ユーザー」のときに、色あいの調節をします。

色あいは赤と緑のカラーバランスを調節します。

—シャープネスメニュー

映像モードが「ユーザー」のときに、シャープネスの調節をします。

シャープネスは映像の鮮明さを調節します。

—色温度メニュー

暖色、標準、寒色、またはユーザーから色温度を選択します。

—HSG メニュー

赤、緑、青、シアン、黄、マゼンタ、白の各色を個別に調節できます。

- ・ 色の濃さ: 調節する色を選択します。

—ガンマ線メニュー

1.8、2.0、2.2、2.4 から選択できます。

ご希望の値を選択してください。

関連ページ

- [ディスプレイ P45](#)
- [サウンド P50](#)
- [設定 P51](#)
- [アドバンス P54](#)
- [情報 P56](#)

サウンド

— ボリュームメニュー

音量

音量レベルを調節します。

— ミュートメニュー

消音

一時的に音声を消音できます。

- ・ オン: 消音します。
- ・ オフ: 元の音量に戻します。

ポイント

「消音」機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に反映されます。

関連ページ

- ・ [ディスプレイ P45](#)
- ・ [映像 P48](#)
- ・ [設定 P51](#)
- ・ [アドバンス P54](#)
- ・ [情報 P56](#)

設定

—アスペクト比メニュー

アスペクト比

表示される画像のアスペクト比を、以下のオプションの中から選択します。

- ・ 16:9
- ・ 16:10
- ・ 16:6
- ・ 4:3
- ・ フルサイズ
- ・ ネイティブ

—設置方向設定メニュー

映像の上下や左右で反転させ、各設置方法ごとに正しく映像が表示されるように設定できます。

前面投写

リア投写

天上前面投写

リア前面投写

—レンズ調整メニュー

シフト調整

ZOOM 調整

焦点調整

—キーストンメニュー

4 点調整

左上、右上、左下、右下の 4 コーナーのゆがみを個別に補正できます。

9 点調整

左上、中央上、右上、左、中央、右、左下、中央下、右下の 9 コーナーのゆがみを個別に補正できます。

HV 調整

上、左右、下のゆがみを個別に補正できます。

フレームリセット

キーストン設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

—コントラストエンハンスメニュー

黒をより暗くする際に ON を選択してください。

ON

OFF

—ダイナミックコントラストメニュー

ダイナミックコントラスト比とは、画面が暗いときにはバックライトの輝度を暗くし、明るいときにはバックライトの輝度を明るくして測定されたコントラスト比のことです。ダイナミックコントラストを ON にする際に選択してください。

ON

OFF

—高地設定メニュー

「オン」を選択すると、ファンの回転が速くなります。この機能は、気圧が低い高地環境で本製品を使用する場合にご使用ください。

オン

オフ

—テストパターンメニュー

オン

白、赤、緑、青、黒、グレー、黄、シアン、マゼンタより選択できます。

オフ

関連ページ

- [ディスプレイ P45](#)
- [映像 P48](#)
- [サウンド P50](#)
- [アドバンス P54](#)

アドバンス

— 言語メニュー

下記 OSD の言語を選択できます。

英語、簡体字中国語、日本語、韓国語

— オートパワーオフメニュー

オン

1 分から 60 分で設定できます。

オフ

オートパワーオフはしません。

— 自動スタンバイメニュー

オン

オフ

— ネットワーク設定メニュー

IP アドレス

IP アドレスを表示します。

サブネットマスク

サブネットマスク番号を表示します。

ゲートウェイ

本製品に接続しているネットワークのデフォルト ゲートウェイを表示します。

DNS

DNS 番号を表示します。

マックアドレス

マックアドレスを表示します。

— ブートモードメニュー

「スタンバイ」「電源 ON」から選択できます。

「電源を ON」に設定した状態でコンセントを挿すと、製品が立ち上がります。

「スタンバイ」モードにするとコンセントを挿してもスタンバイになります。

— スタンバイモードメニュー

省電力/ネットワークから選択できます。

— ログ設定メニュー

ON

IRIS OHYAMA ログが表示されます。

OFF

ログは表示されません。

— 工場出荷モードメニュー

「YES」を押すと工場出荷モードに切り換わります。

「NO」を押すと変更しません。

関連ページ

- [ディスプレイ P45](#)
- [映像 P48](#)
- [サウンド P50](#)
- [設定 P51](#)
- [情報 P56](#)

情報

—情報メニュー

以下のプロジェクター情報を表示します。

- 製品情報
- シリアル番号
- バージョン情報
- ネットワーク IPS
- 信号情報
- AMT、起動時間の積算

関連ページ

- [ディスプレイ P45](#)
- [映像 P48](#)
- [サウンド P50](#)
- [設定 P51](#)
- [アドバンス P54](#)

お手入れ

お手入れについて

機能低下や故障を防ぐために定期的にお手入れをしてください。



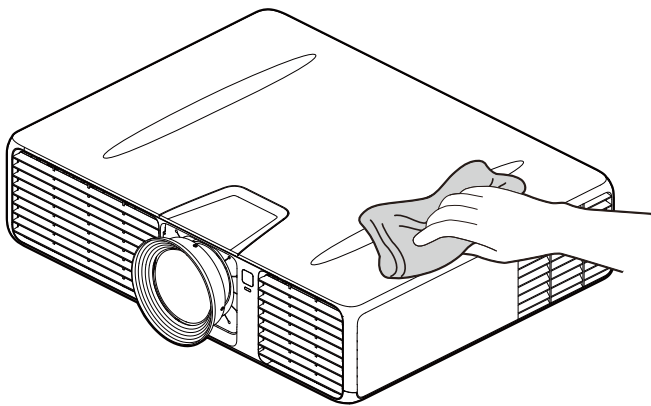
- ・シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。
- ・必ず 30 分以上前に本製品の電源を切り、電源プラグを抜いて本体の温度を下げてください。
- ・固く絞った布のみを使用し、吸気口に水が入らないようにしてください。

！お願い

- ・本体内部に少しでも水が入った場合は、電源プラグを抜いて風通しの良い部屋に数時間置いて乾かしてから使用してください。大量の水が入った場合は、お買い上げの販売店または[アイリスコール P72](#) (☎[電話をかける](#))までお問い合わせください。

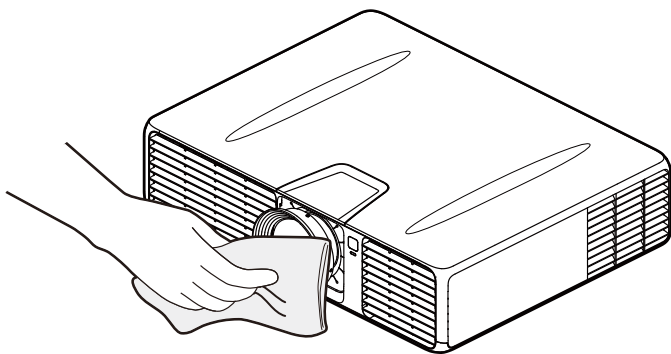
本体ケース

水またはぬるま湯(40℃以下)を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭いてください。



レンズ

清潔な柔らかい布に、市販の光学レンズクリーナーを少量含ませ、軽く円を描くようにレンズを拭きます。



！お願い

- ・ レンズに直接クリーナーを付けないでください。

吸気口・排気口

年に1度、お買い上げの販売店または裏表紙記載の[アイリスコール P72](#)(☎[電話をかける](#))に内部の清掃を依頼してください。(有料となります。ご了承ください。)

※ 内部にほこりがたまると、本体内部温度が上昇し、故障・光学部品早期劣化の原因になります。

保管について

- 保管するときは、電池をリモコンから取り出してください。
長期間電池を入れたままにしておくと、液もれなどの原因になります。
- 油煙やたばこなどの煙が当たる場所で使用・保管しないでください。
投写映像の品質が劣化することがあります。

故障かな？と思ったら

電源について

修理を依頼される前に以下の項目を確認してください。

— 電源が入らない

→電源プラグがコンセントに確実に接続されていますか？

電源プラグがコンセントに確実に接続されているか確認してください。

→電源を入れましたか？

リモコンの  ボタンまたは操作パネルの  ボタンを押してください。

→電源コードを触ると、インジケータが点いたり消えたりしませんか？

本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから差し直してください。それでも直らないときは、ご使用をやめ、電源コードを抜き、お買い上げの販売店または[アイリスコール P72](#)( [電話をかける](#))にご相談ください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P72](#)( [電話をかける](#))へお問い合わせください。



- ・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ先 P72](#)

操作について

修理を依頼される前に以下の項目を確認してください。

—リモコン操作ができない

→リモコンの電池は正しく入っていますか？

- ・ リモコンの乾電池は正しい極性(⊕/⊖)で入っているか確認してください。
- ・ リモコンの乾電池が消耗している場合は電池を交換してください。

→リモコンは正しく使用していますか？

- ・ リモコンを本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・ リモコン受光部に直射日光や照明の強い光などが当たっていないか確認してください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P72](#)(☎[電話をかける](#))へお問い合わせください。



- ・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ先 P72](#)

映像について

修理を依頼される前に以下の項目を確認してください。

—映像が表示されない

→電源を入れましたか？

リモコンの  ボタンまたは操作パネルの  ボタンを押してください。

→電源コードを接続していますか？

電源コードを接続してください。

→インジケーターがすべて消灯していませんか？

本製品の電源コードを抜いて、接続し直してください。

接続後、電源ボタンを押して電気が供給されているか確認してください。

→映像信号は入力されていますか？

ケーブル類が正しく接続されているか確認してください。

接続後、入力する端子を選択してください。

→AV アンプ等の電源が切れていませんか？

AV アンプ等を接続しているときは、AV アンプ等の電源も確認してください。

→機器から映像信号が送られていますか？

接続している機器から映像信号が送られていることを確認してください。

→ブランク画面もしくはディスプレイテスト画面になっていませんか？

リモコンの  ボタンを押して、ブランク画面もしくはディスプレイテスト画面を解除してください。

—「映像信号が入力されていません。」と表示される

→ケーブル類が正しく接続されていますか？

投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認してください。

→接続した映像入力端子を正しく選択していますか？

ケーブル類が接続されているか確認してください。接続後、入力する端子を選択するか、リモコンの各入力ソースのボタンで映像を切り替えてください。

→接続している機器の電源は入っていますか？

機器の電源を入れてください。

→プロジェクターに映像信号が出力されていますか？(コンピューター映像信号投写時のみ)

- ・映像信号がコンピューターの液晶モニター以外(外部)にも出力されるように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニターに表示されないモデルもあります。コンピューターの仕様はコンピューターの取扱説明書を参照してください。
- ・本製品やコンピューターの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピューターの映像信号を外部に切り替えるFn(ファンクション)キーが使えないことがあります。本製品およびコンピューターの電源を入れ直してください。

—投写映像が台形にゆがむ

→台形ゆがみは補正範囲内で調節していますか？

補正可能範囲よりも外の位置から投写を行うと、台形ゆがみを十分に補正できない場合があります。できるだけスクリーンの正面に水平・平行に設置して、キーストンの機能などを使って投写位置を調節してください。

—ぼやける、ピントが合わない

→フォーカスを調節しましたか？

フォーカス調節を行ってください。

→レンズキャップが付いていませんか？

レンズキャップを外してください。

→投写距離は最適ですか？

投写距離の推奨範囲を確認してください。

→レンズに結露していませんか？

寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面に結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる 1 時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてしばらく放置してください

－ノイズが入る、映像が乱れる

→ケーブル類は正しく接続されていますか？

投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認してください。

→解像度の選択は正しいですか？(コンピューター映像信号投写時のみ)

本製品に対応する信号にコンピューターを合わせてください。

－映像の一部が切れる(大きい)、映像が小さい

→[アスペクト]は正しく選択していますか？

設定メニューの[アスペクト]で、入力信号に合ったアスペクトモードを選択してください。

→解像度の選択は正しいですか？(コンピューター映像信号投写時のみ)

本製品に対応する信号にコンピューターを合わせてください。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P72](#)(☎[電話をかける](#))へお問い合わせください。



・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

・ [お問い合わせ先 P72](#)

音声について

修理を依頼される前に以下の項目を確認してください。

ー 音が出ない

→オーディオケーブルは正しく接続されていますか？

AUDIO IN 端子からケーブルを抜いて差し直してください。

→入力切替が合っていますか？

入力切替が合っているか確認してください。

→音量調節が最小になっていませんか？

聞こえる音量に調節してください。

→消音になっていませんか？

MENU/音声/消音をオフにしてください。

→ブランク画面もしくはディスプレイテスト画面になっていませんか？

リモコンの  ボタンを押して、ブランク画面もしくはディスプレイテスト画面を解除してください。

→映像無し、映像検索中になっていませんか？

故障ではありません。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P72](#)( [電話をかける](#))へお問い合わせください。



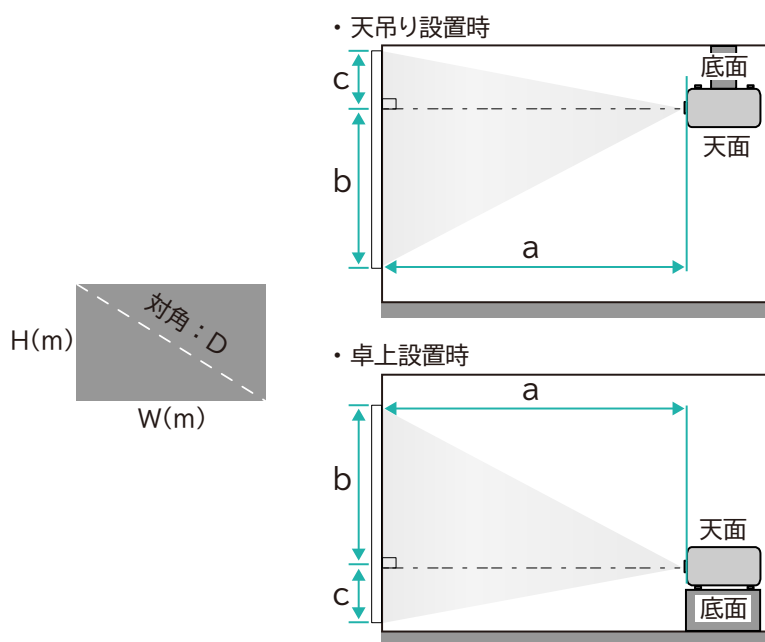
・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

・ [お問い合わせ先 P72](#)

その他の情報

投写距離表



画像サイズと投写距離

— 付属レンズ使用時

スクリーンサイズ(型) [16:10]			a		レンズシフト			
対角:D	縦:H	横:W	最小 (m)	最大 (m)	底面最大時		天面最大時	
					b(m)	c(m)	b(m)	c(m)
50	0.67	1.08	1.08	1.72	0.74	-0.07	0.61	0.07
80	1.08	1.72	1.72	2.76	1.18	-0.11	0.97	0.11
100	1.35	2.15	2.15	3.45	1.48	-0.13	1.21	0.13
120	1.62	2.58	2.58	4.14	1.78	-0.16	1.45	0.16
150	2.02	3.23	3.23	5.17	2.22	-0.20	1.82	0.20
200	2.69	4.31	4.31	6.89	2.96	-0.27	2.42	0.27
300	4.04	6.46	6.46	10.34	4.44	-0.40	3.63	0.40

— 交換レンズ LNS-G0709 使用時

スクリーンサイズ(型) [16:10]			a		レンズシフト			
対角:D	縦:H	横:W	最小 (m)	最大 (m)	底面最大時		天面最大時	
					b(m)	c(m)	b(m)	c(m)
50	0.67	1.08	0.75	0.97	0.74	-0.07	0.61	0.07
80	1.08	1.72	1.21	1.55	1.18	-0.11	0.97	0.11
100	1.35	2.15	1.51	1.94	1.48	-0.13	1.21	0.13
120	1.62	2.58	1.81	2.33	1.78	-0.16	1.45	0.16
150	2.02	3.23	2.26	2.91	2.22	-0.20	1.82	0.20
200	2.69	4.31	3.02	3.88	2.96	-0.27	2.42	0.27
300	4.04	6.46	4.52	5.82	4.44	-0.40	3.63	0.40

— 交換レンズ LNS-G05 使用時

スクリーンサイズ(型) [16:10]			a 最小 (m)	レンズシフト			
対角:D	縦:H	横:W		底面最大時		天面最大時	
				b(m)	c(m)	b(m)	c(m)
50	0.67	1.08	0.54	0.27	-0.40	0.61	0.07
80	1.08	1.72	0.86	0.43	-0.65	0.97	0.11
100	1.35	2.15	1.08	0.54	-0.81	1.21	0.13
120	1.62	2.58	1.29	0.65	-0.97	1.45	0.16
150	2.02	3.23	1.62	0.81	-1.21	1.82	0.20
200	2.69	4.31	2.15	1.08	-1.62	2.42	0.27
300	4.04	6.46	3.23	1.62	-2.42	3.63	0.40

仕様

型番	IP-GU500B	
投写方式	DLP	
画素数	1920×1200/WUXGA	
光源	レーザー	
端子	入力	HDMI×2、VGA×2、AUDIO IN×1、SYNC IN ×1、RS232×1、LAN(RJ45)×1
	出力	IR 3D OUT 端子×1、AUDIO OUT ×1、SYNC OUT ×1、USB B 端子×1
スピーカー	10W×1	
定格電圧	AC100V、50/60Hz	
最大電流	4.5A	
使用温度範囲	温度:0 ～ 35℃／湿度:10% ～ 85%RH(結露なきこと)	
標準外形寸法 (レンズ部含まず)	W438×D334×H120 mm	
質量	約 9.2kg(レンズ含まず)	
付属品	リモコン×1、電源コード、「取扱説明書(準備編)」保証書付き	

—リモコン

電源	DC3V(単四形乾電池×2)
質量	約 68g(乾電池含まず)
操作距離	約 6m(直進)

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※ 本製品は日本国内専用です。海外では使用できません。

商標

- HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。



- DLP®, DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。



保証とアフターサービス

必ずお読みください。

—保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。
保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。
保証書は「取扱説明書(準備編)」の裏表紙にあります。

—保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって無料修理または無料交換をさせていただきます。
詳しくは[保証規定 P71](#) を参照ください。

—保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[アイリスコール P72](#)(☎[電話をかける](#))にご相談ください。
修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

—補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6 年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

—アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P72](#)(☎[電話をかける](#))にお問い合わせください。

関連ページ

- ・ [お問い合わせ先 P72](#)

保証規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障および損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
2. 保証期間内に、故障などによる無料修理または交換をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にご依頼のうえ、本書を提示してください。
なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. 保証内容は本製品自体の無料修理または交換に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
4. ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に各種ご依頼、ご相談になれない場合は、[アイリスコール P72](#)(☎[電話をかける](#))にお問い合わせください。
5. 保証期間内においても、次の場合には保証の対象外もしくは有料修理となります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障および損傷
 - ② お買い上げ後の落下、水没、浸水などによる故障および損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障および損傷
 - ④ 通常使用以外(たとえば想定外の連続使用、車両・船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障および損傷
 - ⑥ 保証書のご提示がない場合
 - ⑦ 保証書ににお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合、あるいは販売店または購入履歴のわかる領収書等をご提示いただけない場合
 - ⑧ 接続された弊社製品以外の機器との間に生じる動作不具合やコネクターなどの破損
 - ⑨ その他、弊社が本保証内容の対象外と判断した場合
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
7. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

お問い合わせ先

お問い合わせについてはこちら

アイリスコール：[0800-111-5300](tel:0800-111-5300)（通話料無料）

平日 9:00～17:00、土日祝日 9:00～12:00、13:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>